

インドの政治情勢について(2018年12月)

～モディ首相率いるインド人民党は州議会選挙で敗北～

2018年12月17日

お伝えしたいポイント

- ・ インド人民党は事前予想通り州議会の議席数を大幅に減らす
- ・ 来年の下院総選挙に向けて財政政策と各政党の選挙活動に注目
- ・ 望まれるモディ首相の再選と、政府と足並みをそろえた金融政策運営

<インド人民党は事前予想通り州議会の議席数を大幅に減らす>

12月11日(現地)に開票が行われた5つの州の州議会選挙において、モディ首相率いるインド人民党は議席数を減らす結果となりました。特に州議会においてインド人民党が最大勢力を保持していた3州(マディア・プラデシュ州、ラジャスターン州、チャッティースガル州)では獲得議席数において国民会議派に敗北する結果となりました。ただし事前予想や出口調査の段階では、これらの州においてインド人民党は苦戦を強いられると報道されていたことから、おおむね予想された通りの結果となりました。

《主要政党の開票結果(獲得議席数()内は前回選挙時の獲得議席数)》

州	選挙前与党	議席数	インド人民党	国民会議派	その他
マディア・プラデシュ	インド人民党	230	109 (165)	114 (58)	7 (7)
ラジャスターン	インド人民党	200 (注1)	73 (163)	99 (21)	27 (16)
テランガナ	テランガナ 民族会議	119	1 (5)	19 (21)	99 (93)
チャッティースガル	インド人民党	90	15 (49)	68 (39)	7 (2)
ミゾラム	国民会議派	40	1 (0)	5 (34)	34 (6)

(注1)投票議席は199、1選挙区の投票は延期。

(出所)インド選挙管理委員会、報道資料を基に大和投資信託作成

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

< 来年の下院総選挙に向けて財政政策と各政党の選挙活動に注目 >

インドでは来年5月までに国政選挙である下院総選挙が行われる予定です。2014年に就任したモディ政権の政策運営に対して国民の審判が下されます。

就任後のモディ首相は、「Make in India」構想を掲げ、中長期的に持続可能な経済システムを構築するためのさまざまな経済改革を実行してきました。2016年は破産倒産法が成立したほか高額紙幣が廃止されました。また2017年には物品・サービス税(GST)が導入されました。こうした改革を受けて、海外からの直接投資は増加しており、世界銀行が発表しているビジネス環境ランキングでもインドは順位を上げています。

《就任以降のモディ政権による改革事例》

時期	改革	内容
2016年5月	破産倒産法の成立	不良債権処理の迅速化
2016年11月	高額紙幣の廃止	脱税や地下経済の一掃
2017年7月	GSTの導入	全国一律の間接税を導入し、複雑な税制を簡素化

一方で今回の地方選挙でインド人民党が議席数を減らしたように、国民にとっては改革の成果が十分ではないとの不満があるようです。地方の独自色が強いインドの地方選挙は国政選挙の前哨戦ではないものの、再選を狙うモディ首相は国民にアピールするため短期的に効果のある景気浮揚策を打ち出してくる可能性があります。農家に対する債務返済免除や税率の引き下げ等の政策は財政赤字の拡大が懸念されることから、注意して見ていく必要があります。

< 望まれるモディ首相の再選と、政府と足並みをそろえた金融政策運営 >

足元で浮上している米国の利上げ打ち止め観測は、インドを含む新興国債券市場の追い風となりそうです。米国では断続的な利上げが実施され政策金利は2.00%~2.25%へ引き上げられています。しかし直近のFRB(米国連邦準備制度理事会)高官の発言からは中立金利とされる3%近辺を上回る水準までの積極的な利上げ姿勢は見られません。2019年に入り米国の利上げ打ち止め観測が一層強まってくるようであれば、新興国への資金流入につながる事が期待されます。

インドの独自の材料を見ると、最近の原油価格の下落が原油輸入国のインドにとって経常収支赤字の削減とインフレ沈静をもたらす好材料となっています。また人口増加による経済成長への期待は長期的な目線でプラス材料です。

当社では、モディ首相の母体政党のインド人民党が来年の下院総選挙で勝利し、今後も改革路線を継続するのかどうか、また先日インド準備銀行総裁に任命されたダス元財務次官がインド経済の長期的な発展という目標を達成するために、政府と足並みをそろえながら適切な政策運営を推し進めることができるかどうか注目しています。

以上

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<ご参考> 当社の関連リサーチ

◇マーケットレター

- ・インド準備銀行パテル総裁が辞任(2018年12月)～後任は元財務次官のダス氏～(2018/12/12)
http://www.daiwa-am.co.jp/system/files/report/report_タイムリーレポート_20181212_95154.pdf
- ・インド金融政策(2018年8月)～RBIは2会合連続で政策金利を引き上げ～(2018/8/2)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180802_3.html
- ・インド金融政策(2018年6月)～RBIは政策金利を4年半ぶりに引き上げ～(2018/6/7)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180607_1.html
- ・続報・インドの政治情勢について(2018年5月)～モディ首相率いるインド人民党がカルナータカ州議会選挙で第一党へ躍進～(2018/5/18)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180518_1.html
- ・インドの政治情勢について(2018年5月)～インド下院の総選挙に向けて州議会選挙に注目～(2018/5/11)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180511_1.html
- ・インド出張報告(2018年3月)～高成長を続けるインド経済の「今」～(2018/4/10)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180410_1.html
- ・ムーディーズによるインドの格上げについて(2017年11月)(2017/11/20)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171120_2.html
- ・インドの金融政策(2017年10月)～主要政策金利を据え置き～(2017/10/5)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171005_1.html
- ・インド株 足元の下落の背景と今後の見通し(2017/9/28)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170928_1.html
- ・インド経済はモンスーンの降雨量に恵まれ視界良好(2017/9/6)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170906_1.html
- ・インドのインフレ動向について～歴史的な低水準の背景と今後の見通し～(2017/9/5)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170905_1.html

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>